学校番号	３０５

令和８年度　（学）自己探究

教科	（学）自己探究	科目	思考の扉を開くⅢ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新聞その他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

準備してもらいたいものは柔らかな頭と心、そして探究心です。
与えられたテーマに向き合い、考える。これを一週間（毎朝１０分×５日間）のパッケージで学んでいくモジュール型授業です。初日に学んだことを受けて、翌日に自身の考えをまとめます。３日目、４日目には、自身が出した考えをグループ内で考察し、最終日に一週間で学んだことを１００字程度にまとめます。なので、継続的に学習できるように、毎日欠席をせずに取り組みましょう。
テーマの内容は、身近なことから世界や宇宙のことまで、「知っていること」を少しずつ増やし考えを持つことで、自分の世界を広げていくイメージを持ちましょう。ＳＤＧｓについての考察を深めます。

2　学習の到達目標

・豊富な語彙を身に着け、読解を類推につなげることができる。また、自ら進んで必要な知識や情報のありかを求めることができる。
・得られた知見を普遍化し発展的にとらえることができる。そしてそれを他者に向けて有効に発信する姿勢をもち、実行することができる。
・よりよく生きるためには知識や教養が必要であることを実感し、生涯を通じて学び続ける心構えをもつことができる。それにより、自身や他者ひいては世界全体の幸福を実現するために微力でも努力する人になれる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・与えられたテーマについて、最終日のまとめの記入において、要旨をまとめることができている。 ・適切な表現や表記で分かりやすい文を書くことができている。	・テーマに対して、自身の考えを論理的に考えることができている。 ・他者の考えと自身の考えを比較しながら、自身の考えをさらに深めていく内容が書けている。	・ＳＤＧｓについて積極的に知ろうとし、自らの生活と結び付ける視点を持っている。 ・グループワークで、他者の意見を聞きながら、まとめていく取り組みができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	知識・表現	正解のないあるいは一つではない課題について、一人で考え、意見を文章にする。 (月曜日・火曜日)	a:テーマの趣旨を的確に理解している。 b:多様な視点から教科横断的に思考できる。 c:SDGsなどの問題に自分事として取り組み、真摯に思考し続けることが出来ている。	ノート	ノート	ノート 行動観察
	探究活動(グループワークなど)	書いた文章と他者の文章を比較し、よりよい考えを追求する。 (水曜日・木曜日)	a:柔軟な発想で、知識を組み合わせ、その道筋を文章にできる。 b:幾通りもの場合を考慮しつつ、的確な判断で正解を導き出すことが出来る。 c:好奇心を持ち楽しんで取り組むことが出来る。	グループワーク等での取り組みを観察	グループワーク等での取り組みを観察	グループワーク等での取り組みを観察
	まとめ	一週間の経過で学んだ内容を文章にしてまとめる。 (金曜日)	a:書いている内容に、一週間で学んできた内容が書かれている。 b:書いている内容から、論理的な内容がうかがえる。最初に書いていた自身の考えから、展開された経過がうかがえる。 c:まとめた内容から、今後の社会で応用できるような意欲がうかがえる。	ノート 冊子のまとめ欄の内容をチェック	ノート 冊子のまとめ欄の内容をチェック	ノート 冊子のまとめ欄の内容をチェック

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度